

図書館だより

第52号 西原町立図書館

TEL. 944-4996 FAX. 944-4997
Eメール library@town.nishihara.okinawa.jp

町立図書館
マスコットキャラクター



西原町制施行30周年記念 西原町立図書館第20回講演会

演題：「琉球と沖縄の名称について」

講師：小玉正任氏 前(財)沖縄協会会長

日時：2月13日(金) 10:30~12:00

場所：西原町立図書館 2階 集会室

対象：一般(入場無料・申込不要)

主催：西原町立図書館

「りゅうきゅう」「おきなわ」という2つの言葉が歴史的にどのような経緯をたどって「琉球」「沖縄」と表記されるようになったのか。その歴史的経緯について講演していただきます。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

講師略歴

1925年生まれ。秋田県出身
沖縄開発事務次官、国立公文書館館長等を歴任。前(財)沖縄協会会長を務める。
現在、(財)統計情報研究開発センター会長、(財)日本広報センター評議員。
平成7年 勲二等旭日重光章受賞
平成14年 沖縄文化協会賞(特別賞)受賞
平成15年 筑波大学より博士(文学)の学位を授与される
主な著書に「公文書が語る歴史秘話」、「史料が語る琉球と沖縄」、「民俗信仰 日本の石敢當」、「琉球と沖縄の名称の変遷」等

新着本案内

新しく入った図書の一部です。図書館内新着本コーナーにてご確認ください。貸出中の場合は予約することもできます。どうぞ、ご利用ください。

タイトル	人名	出版社	請求記号
1 「成功」と「失敗」の法則	稲盛 和夫/著	致知出版社	159 イ
2 老いのレッスン	松原 泰道/著	佼成出版社	281.0 オ
3 こんなに変わった歴史教科書	山本 博文/監修	東京書籍	375.3 コ
4 日本人だからこそ覚えておきたいノーベル賞理論! 図解「素粒子」入門		宝島社	429.6 ニ
5 キレイになる野菜エコレシピ	SHIHO/著	大和書房	596.3 シ
6 名医ジャスティン	生長 豊健/著	講談社	645.6 イ
7 北欧にならうかわいい切り紙	上原 かなえ/著	PHP研究所	754.9 ウ
8 オランダ語の基礎	クレインズ桂子/著	白水社	849.3 オ
9 夕映え天使	浅田 次郎/著	新潮社	913.6 ア
10 オバマ	マーリン・タージ・プリル/著	オーク	F 837.7 ブ

写真展

生涯学習サークル「四季の会」の写真展を開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時：2月24日(火)~3月1日(日)
場所：西原町立図書館 エントランスホール
テーマ：「道」 約60点
共催：西原町立図書館・四季の会

図書館からのお願い

図書館から借りた本は次の人が気持ちよく利用できるようお願いいたします。返却本の中にとどきコーヒー等の飲み物のしみや落書き、切り取りなどが見られます。図書館の本は町民のたいせつな財産です。大切に取り扱いましょう。また、返却期限を守ってたくさんの方が利用できるようご協力をお願いします。



図書館カレンダー



2月 FEBRUARY

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

開館日

【火~金】
午前10時~午後7時

【土・日】
午前10時~午後5時

■は休館日です。

休館日

まいしゅうげつようび
毎週月曜日

館内整理日(第3木曜日)

3月 MARCH

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

20日 春分の日



日時：2月15日(日) 午前11時~
場所：町立図書館 2階集会室
内容：「一人ぼっちのオオカミと七匹のこやぎ」他

12月	開館日数	22日
来館者数	14,608人	(1日平均 664人)
貸出点数	17,783点	(1日平均 808点)
一般図書	8,539冊	郷土資料 384冊
児童図書	1,890冊	ヤング・アダルト 879冊
絵本	2,510冊	雑誌 1,514冊
紙芝居	209冊	視聴覚資料(CD・DVDなど) 1,858点

おはなし会のお知らせ

日時：2月8日(日)、22日(日) 午後2時~
場所：おはなしのへや

図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ、歌、手あそびなど楽しい内容になっています。親子でお楽しみください。

紙芝居上演のお知らせ

日時：2月7日(土)、21日(土) 午前10時30分~
場所：おはなしのへや

図書館ボランティアによる紙芝居の上演を行っています。なぞなぞなどを取り入れ、楽しく行っています。ぜひ、ご参加ください。



与那原一泡瀬間を走っていた馬車軌道
(『写真集 ふるさと泡瀬』より転載)

西原を駆け抜けた馬車軌道
今から九十五年前の一九一四年(大正三)、現在の与那原町から西原町小那覇の区間に沖繩初の馬車軌道(左絵参照)が開通し、二年後に沖繩市泡瀬まで運行されました。馬が客車を運ぶこのシステムは、時速六kmで村々を駆け抜け、終着駅までは約三時間で到着しました。

当初は、サトウキビを西原の製糖工場へ運ぶトロツコが敷設される計画でしたが、それでは製糖期以外では使われないため、人員輸送も含めて運行が始まりました。西原には我謝、小那覇、仲伊保に駅がありましたが、停留所でなくとも手を挙げて乗ってくる乗客がいたといえます。馬車軌道が生活に与えた影響は大きく、沖繩市や与那原、那覇との経済活動も活発になり、小那覇の街道沿いには商店街が形成され、大いに賑わいました。沖繩戦が間近に迫ると、馬は軍に徴用され、鉄道は壕の支柱に転用されていきました。戦後の苦しい時期に売られた軌道も多く、西原を駆け抜けた馬車軌道は、先輩方の記憶のなかにのみ残ることになりました。

【参考文献】
加藤芳英『図説・沖繩の鉄道』一九八六年
町史編集係では、西原関係資料の収集を行っています。みなさまのお宅に眠っている資料がございましたら、西原町立図書館までご連絡下さい。

お問い合わせ先：西原町立図書館町史編集係 ☎944-4998 FAX: 944-4997 Eメール: choushi@town.nishihara.okinawa.jp